



木村弓さんのコンサート。大山に美しい歌声が響きました

夜の参道を

炎で彩る

大山夏山開き祭



たいまつを持って大神山神社の下の石段をおりる参加者。夜の森を炎が幻想的に照らします

大山の夏山シーズン到来を告げる、第61回大山夏山開き祭が6月2、3日に行われました。2日の前夜祭では、大神山神社奥宮で神事とザイル祭（登山の安全を祈願し、登山用のロープ（ザイル）を奉納するもの）が行われた後、恒例のたいまつ行列がスタート。約2千本のたいまつが、大神山神社から博労座駐車場まで炎の波を描きました。尾道から参加したご夫婦は「登山は何度もしましたが、たいまつ行列は2回目。昨年初めて参加し、珍しい行事で、きれたので今年も参加しました。感動しました」と感想を話



木村さんのコンサートを楽しむ観客（博労座駐車場）

コンサートを聴いた米子市のご夫婦は、「この景色にぴったりの音楽。日ごろのストレスが解消されました。米子に住んでいてやはり大山は自慢の一つ。この自然を大切に守ってほしい」と話していました。

していました。3日は、山頂で登山者の安全を祈願する山頂神事が行われ、関係者や登山客300人が参加しました。この日は8合目付近から霧に覆われ、幻想的な雰囲気の中、神事が行われました。博労座駐車場の特設ステージでは、「千と千尋の神隠し」の主題歌「いつも何度でも」を歌う弾き語り奏者の木村弓さんをゲストに迎えてのコンサートが開かれ、大山に美しい歌声が響きました。

町のイベントを視察

韓国襄陽郡の郡主、幹部職員が来町



大山夏山開き祭のたいまつ行列に参加（右から2番目が郡主）

6月1日から3日にかけて大山町と交流している韓国襄陽郡の郡主と幹部職員7人が、合併後初めて来町されました。訪問団の皆さんは役場本庁、大山支所を訪れた後、3年前に来町された際、仁王堂公園に記念植樹した襄陽郡の花「やまぶき」の成長を確認されました。2日目の夜は、大山最大の祭り大山夏山開き祭前夜祭でたいまつ行列などに参加。訪問団の方は、参加者の多さに驚きと、たいまつ行列の炎の神秘に感激されていました。訪問期間中は天候にも恵まれ、訪問団一行は次の再会を確認しました。